

06: 中核となる教育活動

美工では、歴史と伝統ある美術教育を礎に、美術を核とした教科・科目・専攻の横断的な学びや、課題解決学習、生涯にわたり、自ら学び続ける基盤をつくるキャリア教育など、only one の美術専門高校としての学びを実践します。

BIKO steAm と CAREER PRODUCE

ー「美」を通じた横断的な学びー

美工の生徒の強みは、「作品を生み出す力」です。作品とは、これまでに世の中になかった「新しい何か」がこの世界に生み出されることであり、人々はその作品を通して対話を育み、生活を豊かなものにしてきました。美術作品が人々の生活とともにあることは社会にとってかけがえのない力となります。生徒は、美術表現において、大きな力を発揮できる感性を持っています。その力を他の分野にも関連づけ、学びを広げ、深めることにより、生徒の可能性をさらに高める教育活動が「BIKO steAm」です。「美」を通じた横断的な学びにより、多様な学びへの意欲・関心を高め、大好きな美術の力をさらに伸ばすとともに、「ソウゾウ（想像・創造）」に向かう力を育成します。



BIKO steAm の取組 美術 × 理科
浴衣制作のための植物観察をテーマに理科と染織専攻が協働で授業を行い、双眼実体顕鏡を用いたスケッチを制作

ー生涯にわたり、自ら探究し、学び続けるための基盤作りー

変化の激しい現代社会の中で、生徒たちが希望をもって、自分の未来を切り拓いて生きていくために、変化を恐れず、変化に対応していく力と態度を育てることが不可欠となります。

美工では、そのような社会で活躍する土台を築くために、将来の自分の生き方やキャリアについて自らデザインする取組を「CAREER PRODUCE」と位置づけています。入学時に美工での学びを見通すスタートアップ研修の実施や、インターンシップ、探究活動を通して、生徒が主体的に社会と関わる意欲を高め、必要なスキルや知識を学び、経験を積むプログラムをすすめています。



撮影スタジオでのインターンシップ

BIKOsteAm

BIKO の学びを ART でつなぐ

スチーム
美術工芸高校の特性を生かし「美」を通して様々な学びに横断的に取り組みます。京都の強みを生かし 学校内外とのつながりを通し創造に向かう力 **Creatorship** を育成します。

ひろげる つなげる ふかめる



CAREER PRODUCE

柔軟な思考で 生涯にわたり 自ら探究し
学び続ける基盤をつくる



BIKOsteAm とは

一般的な STEAM 教育とは、STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含むものとして Arts を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習とされています。

BIKO steAm は、美術専門高校の特性を生かし、美術教科・普通教科・総合的な探究の時間・特別活動・課外活動それぞれの枠組を「美」を通して横断的に学習するプログラムです。社会に開かれた教育課程の下、京都の強みを生かし、学校内外とのつながりを通して、「ひろげる、つなげる、ふかめる」学びを実践し、表現活動の基盤となる「感じる心」「考える力」を深めるとともに、他者との対話を通して、多様で創造的な「表現する力」を養い、「創造に向かう力 (Creatorship)」を育むことを目指します。

美工では全ての教科・科目・専攻において、横断的な学びを取り入れます。
*現在実施している横断的な学習

■美術 × 英語 × 情報 (1 年次)

「ユニバーサルデザインをテーマに、英語表現や文化理解を深める」

【学習内容】

英語の学びにおいて、社会的・文化的背景を知ることで理解を深めるとともに、自分自身との関わりが生まれることで、より表現が豊かになります。そこで、デザイン専攻教員が英語の授業に出向き、教科書のトピックの一つであるユニバーサルデザインについて専門的な知識を生徒に伝えることで学び、その意味や人々との関わりについて知識・理解を深めました。さらに、そこから発想をふくらませ「ピクトグラム」の制作を行い、完成作品を英語でプレゼンテーションしました。

■美術 × 総合的な探究の時間 (1 年次)

「展覧会をつくる」

【学習内容】

生徒自身が主体的に課題を見出し、学んだことを整理しながら課題解決のための探究を進めていくため、外部機関との連携を通して、実社会との関わりを意識した深い学びの機会を作っています。授業の導入では、学芸員の方による講義を受け、美術館の役割、所蔵作品の意義、展示・保管等の業務など、専門的な知識や経験について学び理解を深めました。その後、グループごとに独自のテーマを設定して展覧会を企画し、作品の選定、チラシやポスターデザイン、模型製作などを協働で行い、プレゼンテーションの中で学芸員の方から講評いただきました。

CAREER PRODUCE とは

日常的教育活動を通して、学ぶ面白さや学ぶことの意味を生徒が体得していくことを大切に、生涯にわたって、より良い未来にむけて自己の目標や社会への課題意識を持ち、それぞれの個性や持ち味を發揮させながら、学び続ける意欲や努力し続ける姿勢の基盤をつくります。

美工では、これまでより、短期・中期的な目標である卒業後の進路希望の実現に向けて、アートと社会について理解を深める進路講演会や希望制による企業や工房への就業体験の設定、また進学希望の大学に合わせた実技演習など、きめ細やかな取組を実施し卒業後の進路などに成果が表れています。

こうした取組に加え、生徒が生きていく今後の予測困難な社会において必要とされる、生涯にわたって生徒自らが将来を切り拓く力の育成を目指し、キャリア教育の体系化や再構築を進めています。

(取組例)

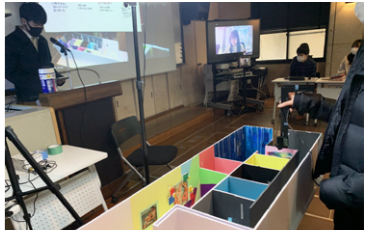
- 3 学年合同の活動を増やし、成長のロールモデルを提示します。他学年との学習や制作・活動の機会を積極的に設けることで、互いに刺激を受けながら、表現力等を高めるとともに、3 年間の学びや自己の成長のイメージを形成し、必要な力の育成に向けた主体性の發揮を促します。
- 興味関心や将来展望を踏まえた生徒自身によるインターンシップを企画します。これまで実施してきたインターンシップの取組のノウハウを生かしつつ、生徒自身の興味関心を踏まえ、自らが研修内容を企画・提案するなど、より主体的な学びの実現に向けて改善を図ります。
- その他、生徒自身が放課後などの使い方を自分で考えて活動したり、キャリアパスポートを活用する機会を充実させ自らの取組を振り返るなど、キャリア教育の全体像を生徒・教職員が共有し、すべての教育活動でキャリア発達を意識した取組を進めます。

Barrier-free design

Universal design



BIKO steAm の取組 美術 × 英語



BIKO steAm の取組 美術 × 総合的な探究の時間



進路希望の実現に向けた実技演習



インターンシップ体験の様子